

# 入りたくなる お店の 看板デザイン

入りたくなるお店の看板デザイン  
- 広告風景のデザインリーフレット -

発行 平成 28 年 6 月

編集 世田谷区都市整備政策部都市デザイン課  
〒158-0094 世田谷区玉川1-20-1二子玉川分庁舎

電話 03 (6432) 7153

FAX 03 (6432) 7996

編集協力 株式会社アルテップ

イラスト 佐藤 浩介

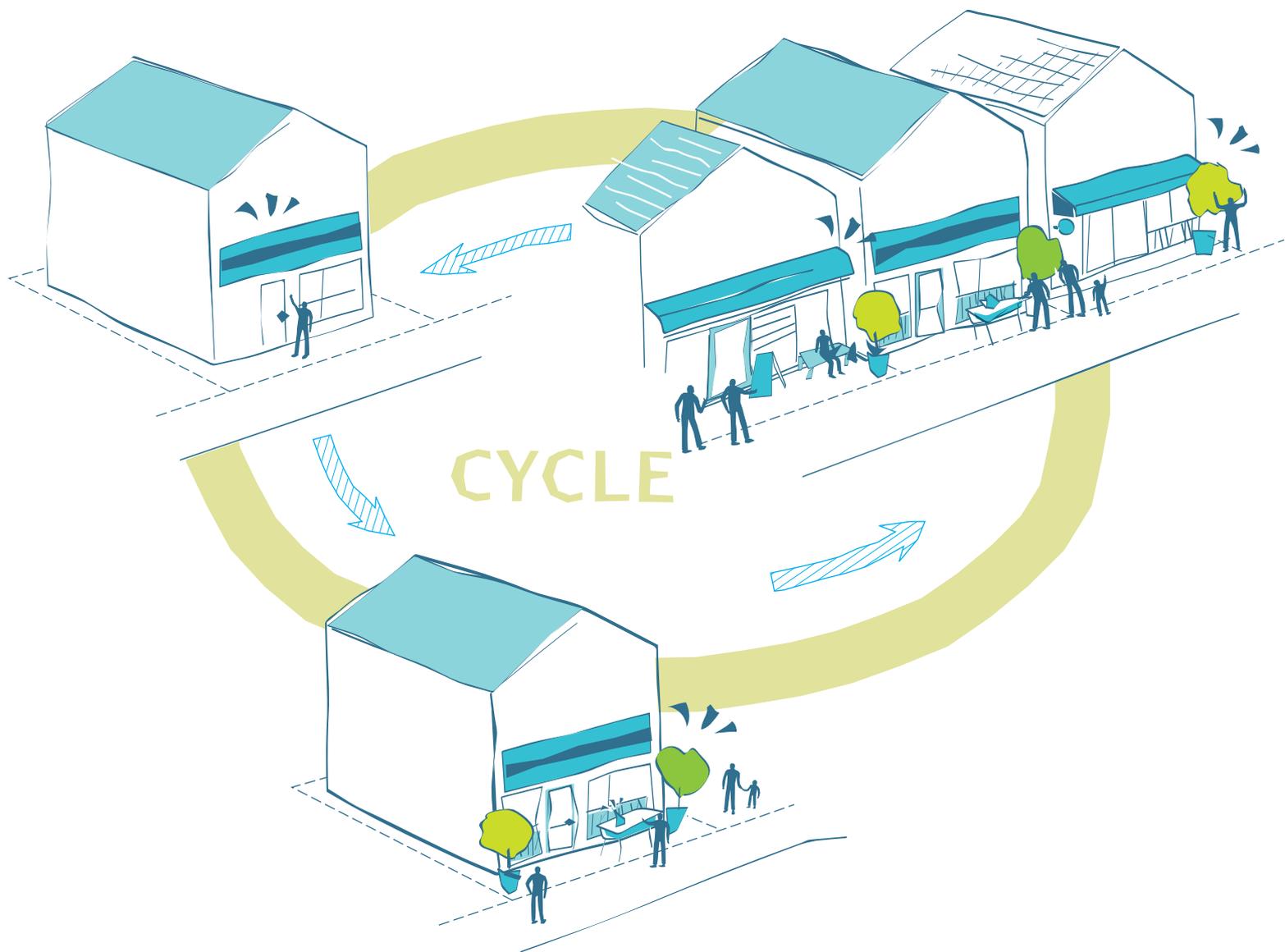


※ 看板等を出す際は、東京都屋外広告物条例や道路法を遵守するとともに、看板の大きさや設置する位置により、許可等の手続きが必要です。

※ 本リーフレットは、区民参加による全4回のワークショップ『ぶつぶつ広告物』での意見を参考に作成しています。

広告風景のデザインリーフレット

# 看板からはじまる 広告風景



看板は、お店からのメッセージです。お店の商品イメージやどんな人に来てほしいかをわかってもらえる看板をデザインする事が大切です。また、看板と一緒に、店先全体もデザインすることでメッセージはより明確に伝わります。

その際、少し視野を広げて周りのお店や建物、通りに目を向けてみましょう。

素敵な店構えのお店や街路樹、賑やかな商店街のフラッグなどが見つかるかもしれません。これらのまちの風景の一部となっているものも意識して、看板、店先をデザインすることで、街並み全体の風景が魅力的になり、街を訪れる人も増えるはず。

さあ、看板からはじまる魅力的な広告風景づくりをはじめましょう。

# 6つのpoint +α

## Point 1 情報

伝える情報はきちんと整理。

看板をじっくり読んでくれる人は、意外と多くありません。短い時間で正しく伝えることが大切です。

1. 文字や図が整理され、すっきりとして見やすい。
2. 看板ごとの役割に合わせた表示内容とすることでメッセージが伝わる。



## Point 2 文字

文字はシンプルで読みやすく。

メッセージは、シンプルで読みやすい文字を使って、簡潔に表現することで伝わりやすくなります。

1. 表現がとてもシンプルで印象的。
2. 適度に余白があるため読みやすい。



## Point 3 色彩

色数は少なく。

お店や商店のイメージを伝えるには、色の数は少ない方が効果的です。

1. シンプルな色使い。青色色彩が美味しい海の幸を連想させる。
2. 洋風の店構えに赤い看板やベンチがマッチしている。



## Point 4 大きさ位置

「誰に向けて」を考える。

看板は、誰にどこから見てほしいのかを意識しながら、適切な大きさや位置を考えて設置することが大切です。

1. 歩行者の目線に近い位置に、程よい大きさで看板が設置され、効果的な看板になっている。



## Point 5 素材

メッセージが伝わる素材を選ぶ。

素材のイメージとお店のイメージが重なることで、メッセージは深く人の心に残ります。

1. パッチワーク風の手づくり感のある暖簾が、楽しそうな雰囲気を演出している。
2. 鉄製の素材と炎のデザインが、上質な焼肉店であることを物語っている。



## Point 6 図記号

図や記号を効果的に使う。

図や記号は、古くから行われてきた効果的な広告方法です。

1. 靴屋の看板
2. 居酒屋
3. 喫茶店
4. ヘアカット専門店



## +α

魅力的な店先や街並みをつくる。

魅力的な店構えにするためには、看板を含めた店先のトータルデザインが大切です。

1. 外壁や看板に木を用いることで、あたたかみのある雰囲気を演出している。
2. 看板の文字や暖簾、建物全体が和風のデザインに統一されている。
3. 茶系の色でまとめられた店先に草花が添えられ、店先全体にうおいを創出している。



より詳しい内容は、以下より入りたくなるお店の看板デザイン～広告風景のデザインブック～  
をご覧ください。

